



所属する民主党の県連幹事長に就任。難局を乗り切るために奔走しています。九州・沖縄の所属全地方議員で構成する九州ブロック自治体議員フォーラムの代表世話人と党本部自治体議員局の副局長(九州代表)にも就任。昨年5月の来県時に海江田代表と。



県議会では、議会内の交渉団体である会派の幹事長にも就きました。議会運営委員会や幹事長会議、広報委員会の委員も務めることになり、重責ですが貴重な経験を積んでいます。

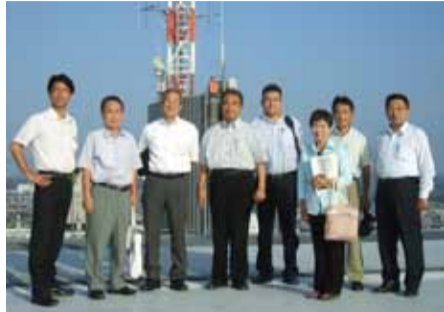


会派や議員連盟、各種勉強会、個人でも先進地を積極的に視察、調査しています。新聞記者時代からのモットーにこだわり、自分の目で見て、現場の感覚を大切にしたいと思っています。写真は、「環境施策を学ぶために訪問した北九州のピオトープ」、「福島県で除染土の保管場所を見学」「広報戦略を研究するため訪問した高知県庁」の様子。



地元の地域活動や県のPRにも積極的に参加しています。宮崎市消防団大宮分団では地域の先輩方と一緒に夜警や防災訓練のお手伝いにも精を出します。神武様では、一日目は議員としてパレードに。二日目は衣装を着て御鳳輦の行列で。記紀編纂1300年のアピールのため、県議会で古代衣装にも扮しました。

写真で振り返る「渡辺創」2013年度の二歩二歩!



2013年度も県議会では「総務政策常任委員会」の副委員長を拝命。県の基本方針や財政に深くかかわる総合政策部と総務部などを所管するため幅広く議論しました。県内外各地も訪問し、様々な状況を把握するよう努めています。



県民交流や議会交流のスポーツイベントにも議会の若手として参加しています。写真は、県民スポーツ祭での「知事・県議会チーム」VS国体少年女子チームとのサッカー交流戦で飛田教育長と一緒に。県議会の軟式野球チームでも活動しています。



2013年度は6月、2月議会で一般質問、9月議会ですべての代表質問と本会議3回登壇。本会議での質問登壇回数は最多のうち一人です。現状のチェックにとどまらず、積極的な提案を行っています。



継続的な街頭演説や各種報告会で、積極的に県政報告しています。特にこれからの1年は、シフトを強化し、より精力的に取り組めます。

新会派「県民連合宮崎」を結成しました!

～県議会第二会派、幹事長に就任～



2月定例県議会の開会を控えた2月12日、新しい県議会内交渉会派「県民連合宮崎」を結成しました。民主党の県議3人を含め6人が第二会派となり、自派以外で唯一、すべり、会長には鳥飼謙二議員が就任。結成に向けた段取りを進めてきた私が最年少議員ですが、幹事長を務めることになりました。

代表質問の時間も15分(45分→60分)長くなったほか、すべての常任委員会に委員を置くことにより、県政全般を細かく把握することが可能になりました。12月に県知事選挙、来年4月に県議改選を控え、難しい舵取りを迫られることもあるかもしれませんが、緊張感のある県議会であってこそ、県政にもいい意味での緊張を与えることができる、と信じてまい進します。

2月の定例県議会の開会を控えた2月12日、新しい県議会内交渉会派「県民連合宮崎」を結成しました。民主党の県議3人を含め6人が第二会派となり、自派以外で唯一、すべり、会長には鳥飼謙二議員が就任。結成に向けた段取りを進めてきた私が最年少議員ですが、幹事長を務めることになりました。

SOUの訪韓日記!

1月19日～24日の6日間、宮崎県議会観光振興議員連盟、南九州3県議会観光振興議員連盟の活動に合わせ、韓国を訪問しました。韓国は、新聞記者時代に国際シンポジウム取材で訪れて以来、世界トップクラスの港湾施設も視察でき、有意義な訪問になりました。



○：中国から飛散したPM2.5警戒警報が発令中だったソウルは、天候も荒れ模様。凍てつく寒さの中、宮崎空港への定期路線の維持・利便促進のため、アジア航空や大手旅行会社「ロッテツアー」などを訪問。南九州3県議連では、旅行業関係者との合同意見交換会も開催。日に就任している縁で、

○：中国から飛散したPM2.5警戒警報が発令中だったソウルは、天候も荒れ模様。凍てつく寒さの中、宮崎空港への定期路線の維持・利便促進のため、アジア航空や大手旅行会社「ロッテツアー」などを訪問。南九州3県議連では、旅行業関係者との合同意見交換会も開催。日に就任している縁で、

○：ソウルでは、同僚議員を連れ、TBSテレビ(JNN系列)の支局も訪問。新聞社時代の記者仲間が支局長に就任している縁で、

○：議連の活動はソウルで終了し、韓国の高速鉄道KTXで一路釜山へ。KTXへの乗車は実は韓国で最も楽しみにしていたこと。日本の新幹線ではなく、フランスに圧巻。

○：釜山訪問の最大の目的は、北東アジア最大の「釜山新港」の視察。コンテナ貨物取扱量世界5位、積替貨物の処理量は世界3位という世界的ハブ港。そのシステムをそのまま県内の港に反映することはできませんが、考えるべきヒントはあふれていました。細島港に2基しかないガントリクレーンが見渡す限りの数十基。1万TEU(積載コンテナ1万個)超の大型船が接岸している姿はまさに圧巻。



渡辺創からのお知らせ

サポーターズクラブを結成します!

渡辺創後援会と別組織の支援の集い「渡辺創サポーターズクラブ」を立ち上げることにしました。年会費の徴収を行う組織になりますが、頻度の高い県政報告紙発行や県政報告、外部講師による講演会なども予定されており、メンバーの方々の要望にも応えやすいクラブになります。

年会費は一口5000円が基本となります。呼びかけ人の皆様準備を進めていますが、ご賛同いただける方は、事務局(0985-29-4050)にご連絡いただくと幸いです。

宮崎県庁見学会を5月に開催予定です!

5月に宮崎県庁見学会を計画しています。あなたの知らない県庁を散策してみませんか。普段なかなか見る機会のない県議会本会議場や災害に備える危機管理センター、知事記者会見などが行われる本館講堂などの見学を予定しています。もしかすると、知事室もご覧いただけるかもしれません…。

全行程で所要90分程度。県政についてのご質問に答える時間も設ける計画ですので、お申込み、日程の問い合わせは渡辺創事務所(0985-29-4050)をお願いします。

50's eye

「広報宣伝へのこだわり」

県議会議員に初当選してまもなく3年になります。1年後は改選期。本当に「あつ」という間に時間が流れたというのが本音です。この間、県政に対する新しい問題意識を持ち続け、様々なことに取り組んできました。その一方で、一貫してこだわってきたテーマもあります。その一つが「宮崎県の広報宣伝戦略のあり方」です。当選直後から全国の先進事例を勉強し、時に本会議で時に常任委員会、時に執行部との意見交換で、具体的な提案を続けてきました。新聞社での職業経験をいかそうという考えもありました。が、それ以上に「強い情報発信力は、県民の県政満足度の向上につながる」との思いが強かったことが影響しています。

総合的な評価はさておき、東国原前知事の時代、宮崎県は降って湧いたように全国的注目を浴びました。その発信力の高さは、県内では住民を引っ張る推進力になり、県外でも観光、物産だけでなく、外で暮らす宮崎県出身者を後押しする効果も生まれました。それは宮崎県関係者の県政への満足度を満たすことにもつながったはずですが、

しかし、その知事なき時代を迎えた宮崎県は、努力や工夫をせずに高い発信力を得てしまったばかりに、その後の戦略を描けずになりました。まるでその様は、初めて買った宝くじに当たってしまった。当選金を使い尽くした後もどう動けばいいのかわからずにいるようなイメージでした。

県は新年度予算で「戦略的かつ統一のブランド化戦略」を策定し、積極的な広報宣伝を取り組むための予算を6400万円計上しました。戦略的かつ統一のブランド化は、私が一貫して主張してきた内容で、県もその本意を十分に理解してくれたと思います。今度は宝くじに頼るのではなく、一つ一つの知恵と工夫と努力で切り拓き、高い発信力を得ようとしています。私も宮崎県の広報宣伝戦略に寄り添い、光を浴びる宮崎県の創出に力を注いでいきます。